

## 石原大臣による記者会見の概要

日時：平成29年2月8日（水）18：00～18：06

場所：内閣府

### 【冒頭発言】

マックレイ大臣との間では、TPP協定の経済的・戦略的意義をお互いに再確認しようということで、TPPを含む自由貿易の重要性について幅広い観点から意見交換を行った。

皆様ご承知の通り、マックレイ大臣の冒頭のスピーチの中で、アジア太平洋地域における、これまでの日本のリーダーシップ、更にこれからも日本がリーダーシップを発揮してもらいたい、日本との会談の重要性を強調する発言があった。

また、マックレイ大臣からは、日本が最初に国内手続を昨年12月9日に国会を通り、今年の1月20日に政省令も直し、寄託国に送った、そこでニュージーランドと少しやり方が違うという説明があって、国内手続を近く完了させる、日本とニュージーランドが先頭に一緒に立つというような話があった。

これからだが、マックレイ大臣はこの後シンガポールに行き、来週はメキシコに行かれるそうだが、関係各国が連携を密にして、21世紀にふさわしいアジア太平洋地域の自由で公正な経済圏を一緒に作っていかうと、そういう話をした。

予定より15分ほど長くなったが、有意義な会談が出来たと思う。すごく冷静だったという印象を持った。

### 【質疑応答】

（記者）米国が離脱を表明している中であるが、米国以外でのTPP実現というような提案はあったか。

（石原大臣）そういう話は一切なく、今は米国も含めてすべての国に門戸がオープンであるということが大切で、何をどうするというのを今決めるのはいいことではない。すごく冷静な議論だったと思う。

（記者）一部報道で、3月にチリでTPP閣僚会合が開かれるのではという話もあるが、その点に関して何か話はあったか。

（石原大臣）マックレイ大臣から言及はあったが、太平洋諸国の対話が行われるということであり、そこが第一歩になればいいと。私の方からは、ちょうど参議院に予算審議が移っているところであり、中南米局に招待状が届いたのだが、今現在どういう方、外務省が行くのか、あるいは経済産業省が行くのか、あるいは内閣官房の我々が行くのか調整中だという話をした。

（記者）関連で、中国や韓国も招待があるというような話もあるが、参加国についてはどうか。

（石原大臣）そういう話は出ていない。

（記者）米国に対して一緒に働きかけていかうとか、米国のNAFTA再交渉については何か話はあったか。

(石原大臣) そういう話はなかった。メキシコに行かれるということで、最後立ち話の中で非常に重要な会談になると言ったら、マックレイ大臣の方からNAFTAがどうなるかということもしっかり見ていかなければいけない、そんな話をした。

(記者) ニュージーランドが国内手続を完了するという説明だったのか。

(石原大臣) 近々という言い方をしていたと思う。システムが、日本は法案が通った後政省令という説明をしたら、その辺が若干ニュージーランドとは違うという話をしていた。

(記者) マックレイ大臣から日米首脳会談に対しての期待等はあったか。

(石原大臣) それは特になかった。ただ、私の方から総理が訪米されて、どういう話があるか、実際にそういうものを見なければいけない、そして2月13日に帰国されて14日に予算委員会の集中審議があると言ったら、大使が頷いていた。それを皆さん見るのではないか。

(記者) TPP以外に、日本とニュージーランドの二国間貿易については何かあったか。

(石原大臣) そんな話は全くなかった。今日は幅広く自由貿易が大切であるという観点から話をした。

以上